

★サキタ・キラリ 北辰の輝き★

～わくわく・きらきらの佐世保北高だより～

2026.8

第108回全国高等学校野球選手権長崎県大会

2回戦 佐世保北 10－9長崎東（延長10回タイブレーク）

3回戦 佐世保北 0－2創成館

2回戦は9回裏土壇場で長崎東に追いつき、延長タイブレークの結果、サヨナラ勝ちをおさめました。3回戦、大会4連覇を目指す創成館にあと一歩及ばず、惜敗しました。

2試合とも手に汗握る熱い戦いでした。野球部のみなさん、感動をありがとう！



県吹奏楽コンクール ★金賞★（7月19日）

7月19日に第71回長崎県吹奏楽コンクールがアルカス佐世保で行われました。

いつも学校行事などで盛り上げてくれる吹奏楽部が、佐北サウンドを響かせ、観客の方々を魅了しました！

吹奏楽部のみなさん、お疲れさまでした！

課題曲：あつまれ おもちゃのマルチャ！

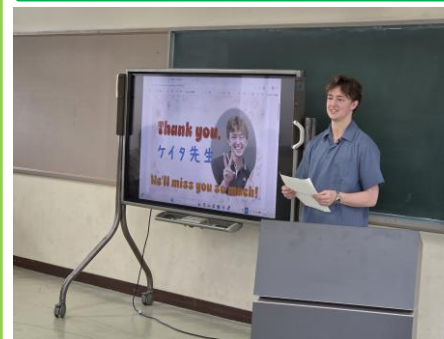
自由曲：富士山 -北斎の版画に触発されて-



ホール練習の様子



ALT ケイタ先生 離任式



本校に3年間ご勤務いただいたALTのケイタ先生が、この度長崎北高校へ異動されました。7月17日に離任式を行いました。ケイタ先生のこれからのますますのご活躍を祈っております。ありがとうございました。

新旧生徒会役員交代



旧生徒会役員のみなさん



新生徒会役員のみなさん

浦田前会長を中心に、生徒会役員のみなさんが学校を盛り上げてくれました。本当にお疲れさまでした。中村会長を中心に新しい生徒会が発足しました。新役員のみなさん、よろしくお願いします。

校内球技大会（7月3日）

3年生にとって最後の球技大会。熱気は最高潮！



大阪大学工学部講座

7月27日（月）佐北の先輩である大阪大学大学院基礎工学研究科の境慎司教授による講座が行われました。受講した生徒は大学の授業さながらの時間を体験するとともに、難関大学を志望する意義について考えを深めることができる貴重な経験となりました。境先生ありがとうございました。



メディカルラボ講座

7月28日（火）に医学部を目指す生徒のために、医系専門予備校メディカルラボの可児良友先生に講義をしていただきました。これからの学校生活の過ごし方や学習の方法等を詳しく教えていただきました。同じ目標を目指す生徒たちの目は、真剣そのものでした。可児先生ありがとうございました。



オープンスクール（7月30日）

参加してくださった中学生のみなさん、ありがとうございました。みなさんに喜んでいただくために、多くの高校生が企画や運営を行いました。体験授業、校内スタンプラリー、先輩との懇談会、部活動見学等をととして、佐世保北高校のことを理解してもらえたでしょうか。みなさんと春にお会いできることを、心からお待ちしております。



第3学年校外学習（8月3～7日）

8月3日（月）から7日（金）まで、佐世保市労働福祉センターにおいて校外学習会が行われました。普段とは違う環境の中での5日間。3年生のみなさんにとってどのような時間でしたか？仲間たちが頑張る姿を見て、自分も頑張ることができましたか？分からないことは質問できましたか？学習会を通して真の受験生になることができたと思います。みなさんのさらなる頑張りを期待しています。また、PTAのみなさまから、差し入れと激励の言葉をいただきました。ありがとうございました。



第63回長崎県空手道選手権大会

空手道競技 九州大会

第63回長崎県空手道選手権大会に出場し、少年男子形で織田優翔さん（2-1）が第2位、中里洸太郎さん（3-4）が第3位に入賞しました。また、7月10・11日に沖縄県立武道館で九州大会が行われ、男子個人形に織田優翔さん（2-1）が、男子個人組手に上村昇龍さん（3-5）と中里洸太郎さん（3-4）が出場しました。今後の活躍も期待しています。



第64回全珠連長崎県珠算競技大会 優勝 村山 理仁さん(2-1)

6月に行われた長崎県珠算競技大会の読上算競技で優勝することができました。今回の大会で優勝したのはうれしいけど、「読上暗算」などの他の競技が悔しい結果に終わったので、これからももっと練習に励んで、腕を磨いていきたいと思います。

村山 理仁（2-1）



中国語コンテスト 最優秀賞 松瀬 りささん(3-4)

私は3年間、「AIの音声会話機能を活用した独学で、外国語をどこまで習得できるのか」をテーマに探究活動をしてきました。1年次には文部科学省の「トビタテ！留学JAPAN」でオーストラリアへ1か月留学し、外国語習得について探究しました。2年次には台湾修学旅行をきっかけに中国語の学習を始め、約2週間AIとの音声会話のみで学び、現地でどれだけ通じるかを検証しました。今回のコンテストには、探究活動で身につけたスピーキング力や発音を客観的に評価してもらいたいと思い挑戦しました。最優秀賞を受賞できるとは思っていませんでしたので驚きました。同時に、「AIを活用した独学でもここまで力を伸ばせる」と実感し、自信につながりました。会場には、長崎の歴史的な繋がりから中国語コースを設置している高校の出場者も多く、外国語を学ぶ高校生から刺激を受け、さらに学び続けたいと思いました。今後、AIの発達で翻訳や通訳の役割は変化しますが、自分の言葉で相手と伝え合う力の価値は変わりません。一方で、AIを活用すれば誰でも無料で自分のスタイルで外国語を学べます。今回の受賞を通して、自分なりの学び方を見つけ、学ぶ過程を楽しむことの大切さを実感しました。これからも探究心を大切に学び続けたいと思います。

松瀬 りさ（3-4）

